

# 特産品育成事業【鳥取県鳥取市】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【農林漁業分野】

#### 事業概要

鳥取市の特産品を育成するため指導員を配置し、育成作物の育苗管理、栽培試験、土壌分析を行う。

#### 委託先

鳥取いなば農業協同組合

#### 新たな雇用創出数

3人

#### 事業費

約1,238万円(平成23年度)

#### 事業期間

平成21年12月  
～  
平成24年3月

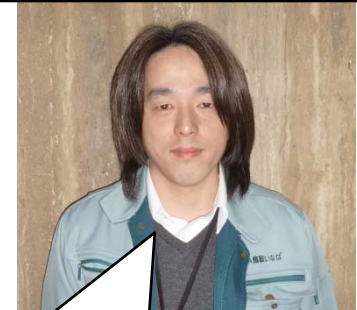
#### 業務内容

土壌分析を行い、その結果に基づく適正野菜の選定、及び適正施肥量の分析。

選定野菜を試験栽培するとともに、優良野菜の育成、育苗管理。

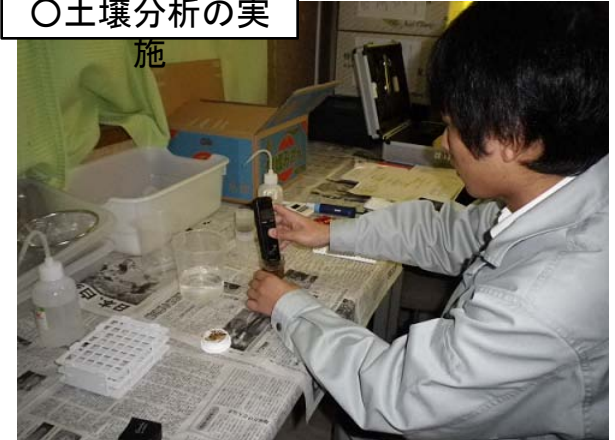
作付指導による特産品の育成。

JA鳥取いなば 営農部営農企画課  
下田 浩文 です。



JA鳥取いなばは県東部に位置し、北は日本海、南は中国山地に接しており、砂丘地を含む起伏に富んだ地域です。管内では米、果実を中心に様々な農産物が栽培されていますが、“福部の「らっきょう」”は全国有数の産地です。現在はそれに続く新たな特産品の育成を目指しています。

#### ○土壌分析の実施



生産者から持ち込まれた土壌を分析し、土壌改良や施肥量の検討等を行っています。

## 活動紹介

### ○育成作物の育苗、管理



《育苗センターでの白ねぎの播種作業》

JA鳥取いなばで推進している重点野菜(白ねぎ、アスパラガス、ブロッコリー)の苗を育成し、農家へ供給しています。

JA資材店舗に併設した実証展示農園「グリーンファーム愛菜館」では、ビニールハウス1棟と露地圃場を利用して野菜栽培を行っています。播種期をずらしたり、栽培条件に変化を加え、生産資材や肥料・農薬の試験を行うなど工夫を凝らしています。

### ○実践圃場による試験栽培



《展示農園のハウス栽培の様子》

### ○育成作物の巡回指導



《白ねぎ圃場の巡回指導》

営農指導センターの職員と共に生産者の圃場を回って品種毎の生育状況を調査し、地域にあった作付指導、品種の検討を行っています。

### ○その他にも

学校給食へのカット野菜を供給する取組みも始めたことから、拡充した集荷便で生産現場を回る中で呼びかけ、これまでまとまった生産がなかったゴボウやカボチャ、生姜の栽培が出来ました。今後も営農指導センターと連携しながら産地化を図っていきたいと考えています。

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

今後も事業を継続し、重点野菜の作付指導・推進を行っていきたいと思います。また、JAの農産物加工施設も活用しながら、これまで各地域で栽培されてきた農産物の新たな魅力を掘り起こし、地域の活性化につながっていければと考えています。

# 求職者等の雇用による地域農業活性化事業【香川県】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生 特別基金事業

【農林漁業分野】

地域雇用失業情勢  
(事業開始時点の  
有効求人倍率)  
香川県0.74倍  
(季節調整値)



#### 事業概要

農業者の急激な減少や高齢化の進行を受け、魅力ある経営と多様な担い手づくりとして、新規就農の促進や女性の農業経営への参画を通じて地域農業の活性化を図る。

#### 事業先

県内4団体

#### 事業費

約23,400万円 (3年間)

#### 新たな 雇用創出数

40人

#### 事業の開始

平成21年4月～

#### 香川県農業協同組合の声

既存の農業者の経営の安定に寄与するとともに、新規就農者の技術習得にもなるという本事業については、地域農業を振興する上でも非常に有効な事業となるのではないかと思います。取り組みを開始しました。

## 事業内容

### 担い手に対する農作業支援体制の確立

【委託先】 香川県農業協同組合 【新規雇用19名】

株式会社アグリハウナン

農作業支援センターを設立し、就農希望のある求職者を雇用し、オペレーターとして農作業支援を実施

### 先進的農業経営体の安定と多角化経営の確立

【委託先】 香川県農業協同組合 【新規雇用17名】

就農希望のあるIターン青年等を確保・雇用し、先進的な農業経営体へ派遣

### Iターン青年等の確保活動の展開

【委託先】 財団法人香川農業振興公社 【新規雇用2名】

- ・かがわ就農、就業相談会の開催
- ・就農相談活動及び無料職業紹介
- ・求人のある農業法人等のデータベース整備
- ・Iターン青年等を受入可能な空家等のデータベース整備

### 農業女性の起業化支援業務

【委託先】 株式会社四国にぎわいネットワーク 【新規雇用2名】

- ・商品PRのためのイベント企画・運営
- ・アンテナショップの充実
- ・さぬきうまいまもんネットワーク販売活動支援、会員向け研修

## 担い手に対する農作業支援体制の確立

ブロッコリーの定植



自然が相手なので  
大変なことも…。  
穴吹 義信さん

この経験を活かし、将来  
は自営農家を目指します。  
泉 恭介さん

## 先進的農業経営体の安定と多角化経営の確立

レタスの手入れ



人と協力して、  
ものを作ること  
に惹かれました。  
重成 和也さん

## I ターン青年等の確保活動の展開



就農相談

適切な助言に努め  
て、新規就農の応  
援をしたいと思います。  
林 武雄さん



かがわ就農・就業相談会

## 農業女性の起業化支援業務

お歳暮企画販売検討会



たくさんの人に喜んでもら  
えればなあ。長谷 勇武さん

多くの方々と接すること  
で、人間的にも成長でき  
ていると実感しています。  
岸下 倫子さん



さぬき女の春祭り

## 【事業終了後の事業継続・雇用継続への展開】

香川県農政水産部農業経営課  
担当者の声

・地域農業の担い手として活躍できる人材を育成することができました。委託先で雇用された方のほか、能力を身に付け別の農業法人に就職した方や自立して自ら農業を始めた方がおられます。

・事業は、採算性を考慮し、一部の事業を委託先で継続することとしています。

# 米粉新ビジネス定着緊急支援事業【熊本県】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【農林漁業分野】

米粉(こめこ)は、新しい食感の食材として、消費者や食品産業から注目されています。原材料の生産から加工販売までの農商工連携による新たなビジネス展開を通して、農村における定住人口の維持、食品産業の雇用の拡大を目指します。



くまもと米粉応援キャラクター  
「米咲かじいさん」

#### 事業概要

米粉製造ライン従事者、米粉食品を加工する技術者、米粉普及促進スタッフ従事者等を新規雇用し米粉ビジネスの定着を図る。

#### 委託先

熊本製粉株式会社  
従業員数180人

#### 新たな 雇用創出数

4人

#### 事業費

約1,085万円  
(平成23年度)

#### 事業期間

平成21年8月  
～  
平成24年3月

#### 業務内容

- ・米粉製造ライン従事業務を行う。
- ・米粉食品を加工する業務を行う。
- ・米粉普及促進業務を行う。



熊本製粉株式会社熊本工場

## 活動紹介

### 新規雇用者の声

・パンや菓子、料理に適した新しいタイプの米粉を作っています。まだ手探りですが、その分やりがいを感じており大変充実しています。指導を受けた技術を着実に身につけ、今後、後輩へも指導できるように頑張りたいと思います。

・これから米粉の需要が更に増えると予想され大変やりがいを感じています。お客様に米粉の良さ「もちり・しっとり」をアピールし新しい用途で使って頂けるようご案内していきたいと思っています。

### 委託先事業者の声

・地元の学校給食米粉パン用の米粉や、菓子や料理にも使いやすい新・米粉を作っています。子どもたちが喜んで食べる姿を想像し、慣れない中でも安全で安定した品質を第一に地元の皆様にも喜んでもらえるように米粉作りに励んでくれています。

・大きな機械の扱いも自信が持てたようで、指導どおりに衛生面に注意して作業に従事しています。



【工場作業の様子】

### 【米粉商品の一例】



(米粉のロールケーキ)



(米粉の焼きから揚げ)



(米粉のクッキー)



(米粉のホワイトシチュー)

### 熊本県の取組み成果

(H21～23年度)

- ・県内米粉食品取扱店の拡大  
約30店→約250店
- ・米粉用米生産量の大幅な増産  
8トン/年(H20)→1,023トン/年(H23全国第7位)

## 事業終了後の事業継続

### ・雇用継続への展開

お米を微細粉末にした米粉は、様々な用途に使用可能な食材。更なる消費拡大を目指し、生産技術向上や品質向上を図り、積極的にPRを行い、事業を継続していきたい。  
また、現在の雇用者については、今後も継続雇用の予定。